



NIPPON BEARING

## 8月18日付 日本経済新聞広告 解答と解説

【問題】非接触 IC カード、最初に導入した都市はどこ？

①ニューヨーク ②香港 ③東京

【答え】②香港

【解説】

非接触 IC カードは、カードを読み取り機（リーダー／ライター）にかざして、決済や認証を行うもの。カードと読み取り機が、無線通信で情報をやり取りする技術を用いています。その代表的なものが、ソニーの開発した「FeliCa」です。

「FeliCa」は 1988 年から開発をスタート。1995 年に香港オクトパス社の次世代交通システム用電子乗車券に採用され、1997 年からサービスを開始しました。

その後、「FeliCa」は JR 東日本の IC 乗車券「Suica」など、各地の交通機関で乗車券として採用されました。また、大手コンビニエンスストアやスーパーなどで、「FeliCa」をベースとした電子マネーの決済システムの導入が進み、2000 年代になって非接触 IC カード型の電子マネーの利用が広がっていきます。

日本銀行の推計によれば、IC 型電子マネーは決済件数、決済金額ともに成長を続け、2017 年度には決済金額で約 5 兆円規模と算出しています。以降、決済金額の伸び率は鈍化傾向にありますが、非接触 IC カードの利用範囲は拡大していきます。

現在は、交通機関の乗車券や電子マネーのほかに、航空搭乗券、学生証、ポイントクーポンカードなどにも「FeliCa」が用いられています。

また、非接触 IC カードではありませんが、同じ技術を使った携帯電話のサービス「おサイフケータイ」も広く利用されており、キャッシュレス生活をアシストしています。

香港で、非接触 IC カードが使われだして 25 年。その技術は、身軽にお出かけできる快適な暮らしを今も支えています。

※FeliCa はソニー株式会社の登録商標です。

※Suica は東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。

※「おサイフケータイ」は株式会社 NTT ドコモの登録商標です。

### ■参考資料

ソニーグループ株式会社 Web サイト ニュースリリース 2005 年 10 月 19 日

公益社団法人発明協会 戦後日本のイノベーション 100 選 Web サイト 非接触 IC カード技術